

科目名	特殊講義（韓国歴史）	科目コード	1592	単位数	2
担当者名	水野 俊平	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

●授業のねらい

韓国の現代史（1945年～現在）の大まかな流れ（人名・事項名・年号を含む）を概略的に理解する。あわせて、戦後の日韓関係史の概略を理解する。

●到達目標

韓国の現代史の概略を学び、南北分断の原因、韓国（北朝鮮）の建国、朝鮮戦争の勃発、戦後の復興と経済発展、民主化運動の高揚、民主化の過程、現在の保守進歩の対立の背景などについて理解する。韓国の歴史関連映画を視聴し、その内容を理解する。あわせて戦後の日韓関係史、特に国交正常化過程について学ぶ。

●授業内容

- 1週目 授業の概要を説明し、教材を配布する。歴史関連映画（1）を視聴し、その内容を理解する。
- 2週目 1945年の「光復」と、「朝鮮民主共和国」、ソ連軍の侵攻、米軍の進駐と「米軍政庁」設置について学ぶ。韓国関連映画（1）を視聴し、その内容を理解する。
- 3週目 朝鮮の分断の原因の一つになった、「光復」に至る前のカイロ・ヤルタ・ポツダム会談における列強の駆け引きについて学ぶ。韓国関連映画（1）を視聴し、その内容を把握する。
- 4週目 1945年の「モスクワ三相会談」と「信託統治」をめぐる賛反、南北分断の予兆になった単独選挙実施・単独政府樹立について学ぶ。歴史関連映画（1）を視聴し、その内容を把握する。
- 5週目 1948年8月の大韓民国樹立の過程、9月の朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）樹立と南北分断、南北における農地改革について学ぶ。歴史関連映画（2）を視聴し、その内容を把握する。
- 6週目 「反民特委」による親日派処罰の失敗、朝鮮戦争の勃発と戦争の推移、休戦までを学ぶ。歴史関連映画（2）を視聴し、その内容を理解する。
- 7週目 李承晩政権下で行われた「抜粋改憲」「四捨五入改憲」と4・19革命を学ぶ。歴史関連映画（2）を視聴し、その内容を把握する。
- 8週目 4・19革命後の第2共和国体制確立から5・16軍事クーデター、日韓国交正常化、ベトナム派兵までを学ぶ。歴史関連映画（2）を視聴し、内容を把握する。
- 9週目 経済成長と「三選改憲」、「10月維新」による維新体制への移行などを学ぶ。歴史関連映画（3）を視聴し内容を把握する。
- 10週目 7・4南北共同宣言、民青学連事件、維新下での「緊急措置」による民主化運動を弾圧などを学ぶ。歴史関連映画（3）を視聴し内容を把握する。
- 11週目 維新体制の確立から10・26政変、12・12クーデターと「ソウルの春」について学ぶ。歴史関連映画（3）を視聴し内容を把握する。
- 12週目 光州事件、新軍部勢力の政権掌握、全斗煥政権の発足、民主化運動の流れなどを学ぶ。歴史関連映画（3）を視聴し内容を把握する。
- 13週目 6・25民主化宣言、87年の大統領選挙と盧泰愚政権の発足、88年の総選挙と「民自党」の結成、北方外交などを学ぶ。歴史関連映画（4）を視聴し内容を把握する。
- 14週目 金泳三政権発足と諸改革、IMF経済危機、金大中政権の発足と南北首脳会談などを学ぶ。歴史関連映画（4）を視聴し内容を把握する。
- 15週目 金大中政権以後、盧武鉉・李明博・朴槿恵・文在寅・尹錫悦まで歴代政権の治績を大まかに見渡す。歴史関連映画（4）を視聴し内容を把握する。
- 16週目 1週から15週にわたって学んだ内容（主に韓国現代史）を復習し、その後、試験を実施する。

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

準備学修(予習・復習)等の内容 PDFファイルで提供された教材の韓国語原文を日本語で発表できるように準備する。翻訳した原文をGoogleドライブ上に入力する。これが予習に当たり、1時間程度の時間をかけることが望まれる。学んだ内容をもとに年表を作成し、Googleドライブ上の確認クイズを受験する。これが事後学習にあたり、30分程度の時間をかけることが望ましい。

●成績評価の方法・基準

成績評価の方法：中間試験25%、期末試験25%、授業における発表（課題）20%、確認クイズ25%、映画の確認クイズ5%で評価する。

●履修上の留意点

履修上の留意点必ず与えられた韓国語原文は自分で日本語文に翻訳すること（ネット上の自動翻訳は禁止する）。よって履修に当たっては韓国語科目の履修が前提となる。韓国語を履修せずに本科目を履修する場合、授業参加に相当な困難を伴うので、十分留意すること。

●課題に対するフィードバックの方法

受講者から提出された教科書の原文はすべて添削した後にGoogleドライブ上にて公開する。確認クイズの点数は学生本人がすぐに確認できるようにする。

●テキスト

チェ・ヨンボム、イ・ウヒョン（2012）『一夜で読む韓国近現代史』（ペーパーロード）を要約して教材として用いる。その他に自家版の教材を用いる。

●参考書

水野俊平（2021）『韓国の歴史』河出書房新社

●更新日付

2022/08/29 12:30